

新型コロナウイルス感染症対策に伴う バドミントン部の活動ガイドライン

Version3

令和4年4月1日～

横浜市中学校体育連盟 バドミントン専門部

はじめに

本ガイドラインは、

- 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2021.11.22ver.7）…文部科学省
 - 横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン（令和3年10月15日版）…横浜市教育委員会
 - 新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（令和2年6月12日）…公益財団法人 日本バドミントン協会
 - 新しい生活様式にあった「サイレントバドミントン」…日本バドミントンメーカー会、日本バドミントン専門店会
 - 横浜市中学校体育連盟主催・主管各種大会実施にかかる新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン…横浜市中学校体育連盟（令和3年12月1日改正）
 - 県中学校体育連盟主催大会実施に関わる新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン…神奈川県中学校体育連盟バドミントン専門部（令和2年8月）
- に基づき作成されています。

新しい生活様式の中で練習、大会を行うということは、生徒、指導者共に感染拡大の防止のための行動を理解し、実行する必要があるという事です

ガイドラインの内容を理解し、1人ひとりが感染拡大の防止のための行動をとることで、はじめて安全に、部活動としてのバドミントンを楽しむことができます

今までの部活動の在り方に捉われることなく、新しい形での部活動としてのバドミントンをみんなで楽しめるようにしましょう

①練習・大会に参加する前に

(過去2週間以内に以下に該当する場合は練習・大会に参加できません)

※必ず全員が検温を行ってください

くしゃみ、咳、喉の痛み、平熱以上の発熱などの症状

倦怠感や息苦しさ

嗅覚や味覚の異常

同居家族に感染が疑われる方がいる場合

過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※同居の家族に風邪症状がみられる場合も練習、大会に参加することはできません。

②持ち物

※感染拡大を防止する必要がある期間においては、通常の持ち物(ラケット・着替え・水筒 など)に合わせて、次のものを必ず持参する

- ・各学校で配られている健康観察表
- ・外履きをしまうための袋(シューズ入れとの兼用不可)
- ・ゴミ袋
- ・着替え、使用済みタオルをしまうための袋
- ・マスクをしまうための袋
- ・マスク
- ・マスクが壊れたときに使用する替えのマスク
- ・汗を拭くためのタオル
- ・手洗い用のハンカチもしくはタオル(汗拭き用と兼用しないこと)

※以上のいずれかを忘れた場合には練習・大会に参加できません

③マスクの着用について

- ・プレー中以外はマスクを着用する(シャトル拾い、待機、移動、着替え、心拍数が上がらない運動など)

(ただし、熱中症の恐れがあると判断される場合は、熱中症対策を優先する)

- ・プレー中は原則マスクを着用しない

(十分な呼吸ができずに、人体に影響を及ぼす可能性があるため)

- ・指導者は原則常にマスクを着用する

(ただし、熱中症の恐れがあると判断される場合は、熱中症対策を優先する)

- ・適切な熱中症対策を行う

(熱中症対策としてマスクを外す場合は、周囲の人と**最低**1メートル以上の距離を取り、**原則**発声しない事)

④手洗い、アルコール消毒の徹底

- ・ 体育館入退館時、練習の休憩中、練習の前後は、必ず石鹸を用いて手洗いを行う
行うことができない場合はアルコール消毒を行う

⑤感染予防のための行動

- ・ 練習場所への入退場は、密にならないように間隔を空け行う
- ・ ソーシャルディスタンスを保つ（できれば2m、最低1m）
- ・ 会話を行う際は原則マスクを着用する
- ・ ハイタッチ、握手などは禁止
- ・ 食事を取る場合はなるべく風通しの良い野外で行い、適切な距離を取り、会話をしない。また、対面で食事を取らない
- ・ シューズの裏を手で拭かない
- ・ ~~靴箱を使用しない~~
- ・ 汗を手や服の襟などで拭わず、必ず自身のタオルを用いて汗を拭く
- ・ 意識的に練習中・試合中に声を出さない
- ・ タオルは直接床に置かず、各自のバックから取り出し、都度その中にしまう
- ・ プレーの前後は手を洗う。または、アルコール消毒を行う

⑥換気

- ・ 競技に大きな支障が出ない範囲で開けることのできる全ての窓、扉を開ける
（例：暗幕のみ閉めて窓は開ける、下の小窓を開けるなど）
- ・ 練習中は30分に一度程度、大会においては2時間に一度15分程度換気時間を取り、
窓・扉を全開にする
- ・ 練習中換気扇を常に稼働しておく

⑦会話、コーチング

- ・ 会話をするときは必ずマスクを着用する。また、できるだけ対面で会話を行わないようにする
- ・ コーチングは一定の距離を保ちできるだけ対面で行わないようにする

⑧道具の貸し借り

- ・ ラケットの貸し借りは行わない
- ・ 飲み物、タオルは共有しない
- ・ スポーツジャグの使用はしない

⑨準備、片付け

- ・ 必要最低限の人数で行う（密を避け、感染症対策を行い準備、片づけを行う）
- ・ 準備、片付けの前後には必ず手を洗う

⑩練習後

練習後はまっすぐ帰宅し、手洗い、うがい、洗顔を行います。また、できるだけ早くシャワー、風呂に入って体を清潔にする
体調を整えるために栄養バランスがよい食事を取り、早めに就寝するようにする

⑪共有物を触ったら

バドミントンの練習をする上で、共有物を触ることは避けられない。そのため次の二つを必ず行う。

- ・ 共有物（シャトル、ネット、ポール、モップ、得点版、鉛筆、消しゴム、暗幕など）を触る前後は手を洗う。**手洗いが不可能な場合には消毒を行う**
- ・ 共有物を触った手で顔を触らない

⑫大会運営に関すること（含強化リーグ）

○大会を中止にするとき

- ・ 緊急事態宣言が出されて、その対象地域となった場合
- ・ 横浜市教育委員会から開催中止の指示をされた時
- ・ 横浜市中学校体育連盟バドミントン専門部が開催できないと判断した場合

○感染が発生した時の対応

【大会に参加する生徒が感染した場合】

→出場を辞退

（学校長に報告→学校長が市中体連会長に報告 また各顧問は競技部長に報告）

【大会に参加する生徒が濃厚接触者になった場合】

→出場を辞退

（学校長に報告→学校長が市中体連会長に報告 また各顧問は競技部長に報告）

→他の部員は大会出場可（**学校長の判断による**）

【学校内で感染者が出た場合】

- ・ 対応が決定するまでの臨時休業中に大会がある場合

→出場を辞退（**学校長が市中体連会長に報告 また各顧問は競技部長に報告**）

- ・ 臨時休業が決定された場合

→臨時休業の規模、期間に当てはまる生徒は出場辞退

**（出場辞退の場合学校長が市中体連会長に報告 また各顧問は競技部長に報告
例…特定の学級だけ閉鎖→異なるクラスなら出場可**

○参加者名簿、大会参加承認書

- ・大会に参加する学校は、参加を希望する選手に対して、大会参加承認書を配布し、回収する
- ・各校顧問は、大会参加承認書に基づいた参加者名簿を作成し、運営責任者に提出する
- ・各校顧問は、回収した大会参加承認書を1か月程度保管する
- ・運営責任者は、提出された参加者名簿を1か月程度保管する

○入退場

- ・学校会場で大会を行う場合はできるだけ少ない人数で前日に準備を終える
- ・各校が座る席は事前に指定し開場前に周知する
- ・開場は人数を区切って入場させる（事前に周知し時差来場させる）
- ・入場前に必ず手洗いをさせる

○トイレ

- ・トイレには石鹼・アルコール消毒を設置する

○本部

- ・大会本部は密を避けるように設置する
- ・本部で使用する筆記用具はできるだけ共用しない
- ・パソコンを用いて運営を行う場合には、出入力の係を事前に決め、複数名が使用しない使用前後に手洗いをを行う
- ・スコアボード、鉛筆などは使用の都度消毒を行う
- ・プログラムの受け渡しは、机に置いてあるものを取ってもらうようにする
- ・選手や審判にもものを渡す場合には手袋を着用する

○消毒

消毒は、消毒用エタノール、界面活性剤を含む家庭用洗剤、0.05%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液、一定の条件を満たした次亜塩素酸水を使用する

※入場前、退場後に1日1回次の場所・ものを消毒する

※必ず手袋を着用し消毒を行い、作業後は丁寧に手を洗う

●必ず次亜塩素酸ナトリウムを使用（必ず教職員が行う）消毒を行う場所

- ・ドアノブ、手すり、スイッチ、押しボタン、水飲み場、流し、トイレ

※家庭用洗剤を用いた拭き掃除は生徒が行ってもよい。

●界面活性剤を含む洗剤で消毒してもよいもの

- ・得点版、椅子、パソコン、マウスなど

○競技会場

- ・コートサイドには、選手が使用するカゴやドリンクケースは設置せず、各自バック

を持参し、飲み物やタオルはそこに收容する

- ・~~コート席は設置しない（設置する場合は試合終了後都度消毒を行う）~~
- ・~~コート~~のモップ掛けは、~~ゲーム毎と試合終了後~~に行う
- ・各コートに使用済みシャトルを入れる回収ボックスを用意する

○競技関係者・競技中の注意

- ・トスはフィジカルディスタンスを確保して行う
- ・主審・線審・サービスジャッジ・得点係の生徒はマスクを着用する
- ・得点係を行う生徒は、行う前後に手を洗いまたは消毒する
- ・線審生徒用の椅子は置かず、立って行う
- ・コールは必要最低限で行う
 - ⇒『プレイ』『フォルト』『レット』『ゲーム』等のみで行う
 - ⇒線審はコールを行わず合図のみで行う
 - ⇒サービスジャッジは『トウハイ』のみをジャッジし『フォルト』とコールする
 - ⇒得点板がある場合は、得点のコールを行わない
- ・シャトルの交換は、選手がシャトルを直接筒から取り出す
- ・~~試合終了後の勝者サインは行わない。その代わりに、勝者はスコアに手を触れずによく確認する。スコアが正しければ、主審に確認したことを伝える。主審は確認後勝者サイン欄に選手の氏名を記入する~~

○応援

- ・応援は声援を不可とし、拍手のみとし、鳴り物は使用しない（うちわを含む）
- ・応援は指定されている席で行い、席を移動しての応援は行わない
- ・会話をするときには必ずマスクを着用する。また、できるだけ対面で会話を行わないようにする。
- ・応援席（待機席）は前後の間隔（最低1mできれば2m）を取り、前後に互い違いになるように配置する。
- ・**試合前の円陣などは行わない。**

○開閉会式、表彰式

- ・参加者が密になる状態を避けるため、開催の有無、参加者の制限、内容の簡略化など、柔軟に対応する。

○移動

- ・各校顧問は出席生徒の行動記録を作成する
- ・公共交通機関の利用はラッシュ時や混んでいる車両を避けて利用する
- ・公共交通機関を利用して移動した場合には、その移動機関の発着時間を記録しておく

○大会参加者の感染が判明した場合

【大会前】

- ・選手、顧問、濃厚接触者と特定されたものの出場は認めない
- ・団体戦においては、参加申し込み後の選手変更を認める
- ・個人戦においては、は欠場とする

【大会期間中】

- ・大会中に発熱等の症状を訴えた生徒がいた場合、すぐに保護者に連絡し、安全に帰宅させる（原則保護者に迎えに来ていただく）
- ・安全に帰宅できるまでの間、会場内で他者との接触を避け、待機できるよう別室を用意しておく

【大会後】

- ・横浜市教育委員会の指示に従う
- ・運営責任者は、速やかに事故報告書を作成する。また、感染者が参加した大会当日に会場内にいた全員に連絡をすること **学校長の指示のもと速やかに競技部長に報告を行う**

⑬練習に関すること

- ノックを行う時には、~~シャトルに触れる人（ノッカー、シャトル拾い）は手袋を着用する~~また、シャトルに触れた手で顔に触れない
- 待機場所で密集が起こらないように、~~シャトルの筒やテープで目印をつくる~~適切に指示をする。
- 間隔の短い休憩を入れ、手洗い、消毒の実施を徹底する
- 一度に体育館に入る人数は、~~1コート×4人が望ましい~~

⑭大会運営上のルール変更の目安

新型コロナウイルス感染拡大防止ための対応が必要な期間は原則次のようにルールを変更し大会を行う。（含強化リーグ）

※ただし文部科学省、横浜市教育委員会、横浜市中体連事務局からの指示が出された場合にはそれを最優先する。

- ・緊急事態宣言発令中 → 15点ゲーム、延長ゲーム有り、強化リーグ中止
- ・まん延防止措置発令中 → 15点ゲーム、延長ゲーム有り、強化リーグ開催
- ・上記以外のコロナ禍 → 15点ゲーム、延長ゲーム有り、強化リーグ開催

※新型コロナウイルス感染拡大への心配がなくなった場合には21点でゲームを行う

参加者名簿

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

大会名 _____ 会場名 _____

学校名 _____ 中学校

引率責任者 _____

	生徒氏名	当日確実に連絡が取れる緊急連絡先	健康チェック
1		TEL:	
2		TEL:	
3		TEL:	
4		TEL:	
5		TEL:	
6		TEL:	
7		TEL:	
8		TEL:	
9		TEL:	
10		TEL:	
11		TEL:	
12		TEL:	
13		TEL:	
14		TEL:	
15		TEL:	
16		TEL:	
17		TEL:	
18		TEL:	
19		TEL:	
20		TEL:	
21		TEL:	
22		TEL: - 8 -	
23		TEL:	
24		TEL:	
25		TEL:	
26		TEL:	

参加者名簿（顧問、部活動指導員）

日付 年 月 日

大会名 会場名

学校名 戸塚 中学校

運営責任者

	学校名	氏名	当日の体温	健康チェック
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				

文例

※学校の実情に応じてご活用ください。

令和2年〇月〇日

〇〇中学校バドミントン部保護者様

横浜市立〇〇中学校
バドミントン部顧問 〇〇

大会への参加について

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対する、理解と協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、大会について、次の参加承認書に必要事項をご記入の上、〇月〇日（〇）までに各顧問までご提出ください。

大会参加承認書

令和2年〇月〇日

※どちらかに、〇を記入してください

大会に参加することを

承認します ・ 承認しません

大会が行われる時間に確実に連絡が取れる
緊急連絡先をご記入ください。

保護者氏名 ()

緊急連絡先番号 ()

〇年 〇組 〇番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印